

STAR

マルチはぎ機

取扱説明書

製品コード	K37011
型式	FDR-202N-HK

サブソイラ	
製品コード	K37014
型式	ADRSA3N

製品コード	K37015
型式	ADRSA2N

製品コード	K37016
型式	ADRSBN

“必読”機械の使用前には必ず読んでください。

株式会社IHIアグリテック

はじめに

このたびは、マルチはぎ機をお求めいただきありがとうございました。

この取扱説明書は、正しい取り扱い方と日常の点検、整備について記載してあります。

この取扱説明書およびトラクタの取扱説明書をよくお読みになって、充分ご活用いただき、いつまでもご愛用ください。また、オプション装着の場合は各々の取扱説明書もごらんください。

お読みになった後はいつでも取り出せるように保管し、わからないことがあったときにお読みください。

マルチはぎ機を貸与または譲渡される場合には、取扱説明書も添付してお渡しください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買上げの販売店にご注文ください。

下記のマークのついた項目は、安全上、特に重要な項目ですので、必ず守ってください。



- この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。



- この項目を守らなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。



- この項目を守らなかった場合、けがを負うおそれがあるものを示します。

- [取扱いの注意]
- 操作上特に注意すべきことや、本機固有の事項ならびに、守らないと本機の性能、寿命に影響をおよぼす事項を示します。

なお、品質、性能向上のため、部品の変更を行う場合があります。その際、本書の内容と一部異なる場合がありますのでご了承ください。

目次

■ 安全に作業するために	2
■ サービスについて	9
■ 本製品の使用目的について	9
■ 主要諸元	10
■ 安全銘板の張り付け位置	10
■ 付属部品	11
■ 各部の名称	11
■ 開梱のしかた	12
■ 使用前に	13
1. 適応トラクタ	13
2. トラクタ前後バランス	13
3. ユニバーサルジョイント	13
■ 使用方法	15
1. 使用に当たって	15
2. 作業前の点検	15
3. トラクタへの取付	16
4. マルチはぎ取速度の調節	17
5. マルチの着脱	18
■ マルチはぎ取作業	19
1. 後引きはぎ取り、横引きはぎ取り	19
2. 高畝マルチのはぎ取り	20
3. 全面マルチのはぎ取り	21
4. 平畝マルチのはぎ取り	22
5. サブソイラ	23
■ 格納	28
■ 点検と整備	29
1. 作業前の点検	29
2. ボルト、ナットのゆるみ	29
3. Vベルトの損傷、磨耗	30
4. クラッチワイヤの余裕	30
5. 給油脂	30
6. 点検整備基準	31
■ 故障と対策	31

■安全に作業するために

ここに記載されている注意事項を守らないと死亡を含む傷害事故や、機械の破損を生じるおそれがあります。

●全般の注意事項

警告 こんな時は運転しない

過労，病気，薬物の影響，その他の理由により
作業に集中できないとき。

酒を飲んだとき。

妊娠しているとき。18才未満のひと。

★守らないと

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

警告 作業に適した服装をする

すべりやすいはきもの、だぶついた服装、

腰てめぐい等は禁止です。

ヘルメット、滑り止めのついた靴等、作業に
適した服装をしてください。

★守らないと

機械に巻き込まれたり、転倒してけがをするおそれがあります。

警告 機械を貸す時は取り扱いを説明する

取扱い方法をよく説明し、作業前に

「取扱説明書」を必ず読むように

指導してください。

★守らないと

事故や重大な傷害、機械の破損をまねくおそれがあります。

⚠警告 マルチはぎ機に人を乗せない

マルチはぎ機に人を乗せないでください。

★守らないと

転落事故等思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

⚠警告 使用目的以外の作業に使用しない

マルチのはぎ取り、回収以外の作業に
使用しないでください

★守らないと

事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠警告 機械の改造禁止

指定以外のアタッチメントを取り
付けしないでください。
改造をしないでください。

★守らないと

事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

⚠注意 日常点検をする

日常点検を行って下さい。

★守らないと

整備不良による事故、けが、機械の故障をまねくおそれがあります。

注意 公道走行禁止

マルチはぎ機をトラクタへ装着して公道の走行はできません。

トラクタの条件によってはそのまま公道走行できる場合があります。

詳細は一般社団法人日本農業機械工業会のホームページで確認してください。

<http://www.jfmma.or.jp/koudo.html>

★守らないと

道路交通法違反です、事故を引き起こすおそれがあります。

●作業前後の注意事項

危険 ユニバーサルジョイント着脱時はエンジン停止

ユニバーサルジョイントを取り付けるとき

および取り外すときは、必ずトラクタの

エンジンを停止してください。

★守らないと

巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。

危険 PTO軸カバー、入力軸カバー、ユニバーサルジョイントカバーは確実に取り付ける

カバーは確実に取り付けてください。

破損しているカバーは修理または交換して取り付けてください。

★守らないと

巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 不適合のトラクタで作業しない

15PS以上で、3点リンクカテゴリ0または1のトラクタを使用してください。

★守らないと

思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

警告 トラクタの前後バランスを調整する

トラクタ前輪が軽いときはトラクタに
フロントウェイトを取り付ける。

★守らないと
バランスを崩し事故を引き起こすおそれがあります。

警告 ユニバーサルジョイントは確実に取り付け、カバーの回り止めをする

ユニバーサルジョイントが抜けないように確実に取り付け、
カバーも鎖で回り止めをしてください。

★守らないと
巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 点検整備は平坦地でトラクタの駐車ブレーキを 掛けて行う

点検整備は、機械が動かない平坦で安全な場所で
トラクタの駐車ブレーキを掛けて行ってください。

★守らないと
機械が動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 点検整備中はトラクタのエンジン停止

点検、整備、修理、あるいは清掃するときは必ず
トラクタのエンジンを停止してください。

★守らないと
巻き込まれ等傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 取り外したカバー類は必ず取り付ける

点検、整備等で取り外したカバー類は必ず取り付けてください。

★守らないと
機械に巻き込まれるおそれがあります。

警告 トラクタとの着脱は平坦地で行う

トラクタとの着脱は平坦な安定した場所で行ってください。

★守らないと
機械が動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

注意 作業前点検を行う

作業前に機械を点検してください。

★守らないと
事故を引き起こしたり、機械を損傷するおそれがあります。

●作業時の注意事項

危険 回転中のユニバーサルジョイントには近づかない

回転中のユニバーサルジョイントには絶対に近づかないでください。

★守らないと
巻き込まれ、死亡事故を引き起こすおそれがあります。

警告 回転中の巻取りリールに体を近づけない

巻取りリールが回転しているときは、体を近づけないでください。
マルチをセットするときは、PTOを中立にしてください。

★守らないと

巻き込まれて、けがをするおそれがあります。

警告 マルチが固く巻かれているときは、巻取りリールに手を近づけない

マルチが固く巻かれていると、巻取りリールが急激に折りたたまれます。
レバー操作でリールを折りたたんでから、マルチを取り出してください。

★守らないと

巻取りリールに挟まれ、けがをするおそれがあります。

警告 エンジンを始動するときはPTOを中立にする

トラクタのエンジンを始動するときは
PTOを中立にしてください。

★守らないと

急に巻取りリールが回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 周囲の安全を確認してから発進する

機械の周囲に人がいないか確認してから発進してください。
共同作業のときは、声を掛け合ってください。

★守らないと

傷害事故を引き起こすおそれがあります。

警告 安全速度で走行する

無理のない安全な速度で走行,作業してください。
旋回するときは、スピードを落としゆっくり行ってください。

★守らないと
転落事故を引き起こすおそれがあります。

警告 機械から離れるときはエンジン停止

機械から離れるときは、トラクタの駐車ブレーキを掛け
エンジンを停止してください。

★守らないと
思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

警告 傾斜地では旋回や等高線に沿った走行をしない

旋回はなるべく平坦な場所で行ってください。
また、斜面を横切る等高線走行はしないでください。

★守らないと
転倒事故を引き起こすおそれがあります。

警告 傾斜地での変速、だ性走行をしない

急傾斜地を走行するときは、あらかじめ適正な変速段に入れ、
下り坂ではエンジンブレーキを使用してください。

★守らないと
暴走して傷害事故を引き起こすおそれがあります。

■サービスについて

アフターサービスについて

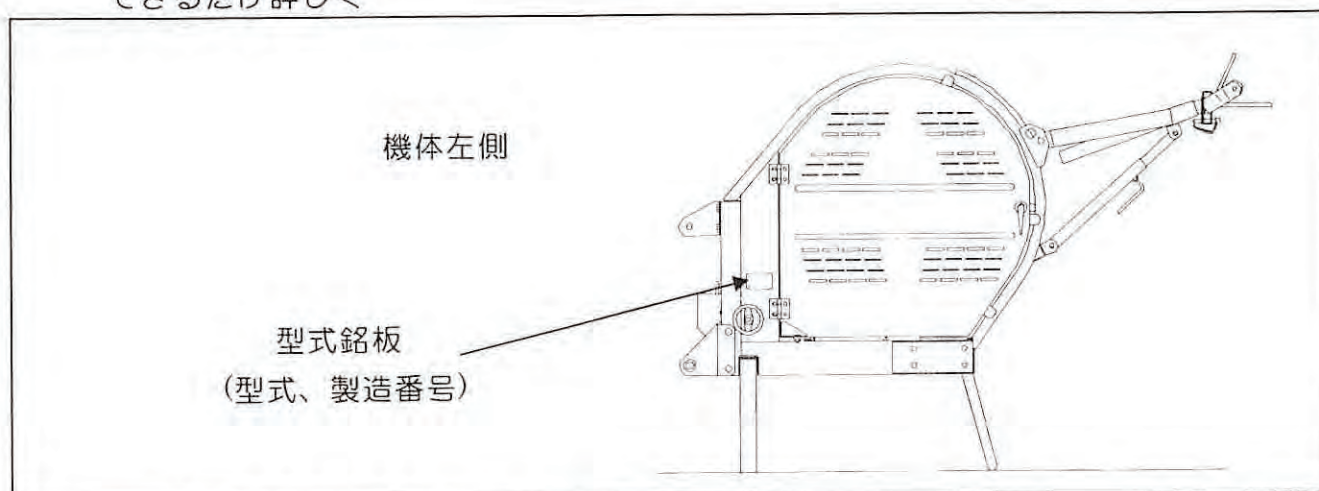
機械の調子が悪い時は 31 ページの「故障と対策」に従って、点検してください。

なお不具合がある場合はお買上げの販売店にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型式
製造番号
購入年月日
オプションの有無
使用状況
不具合が発生した時の状況を
できるだけ詳しく

覚 え	
型 式	FDR-202N-HK
製 造 番 号	
購 入 年 月 日	
オ プ シ ョ ン	



補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後 9 年です。

ただし供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で終了しますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

■本製品の使用目的について

本マルチはぎ機は、フィルム状のマルチをはぎ取る作業、または、はぎ取ったマルチを巻取り回収する作業に使用する目的の機械です。

使用目的以外の作業に使用しないでください。

また、指定以外のアタッチメントの取付けや、改造をしないでください。

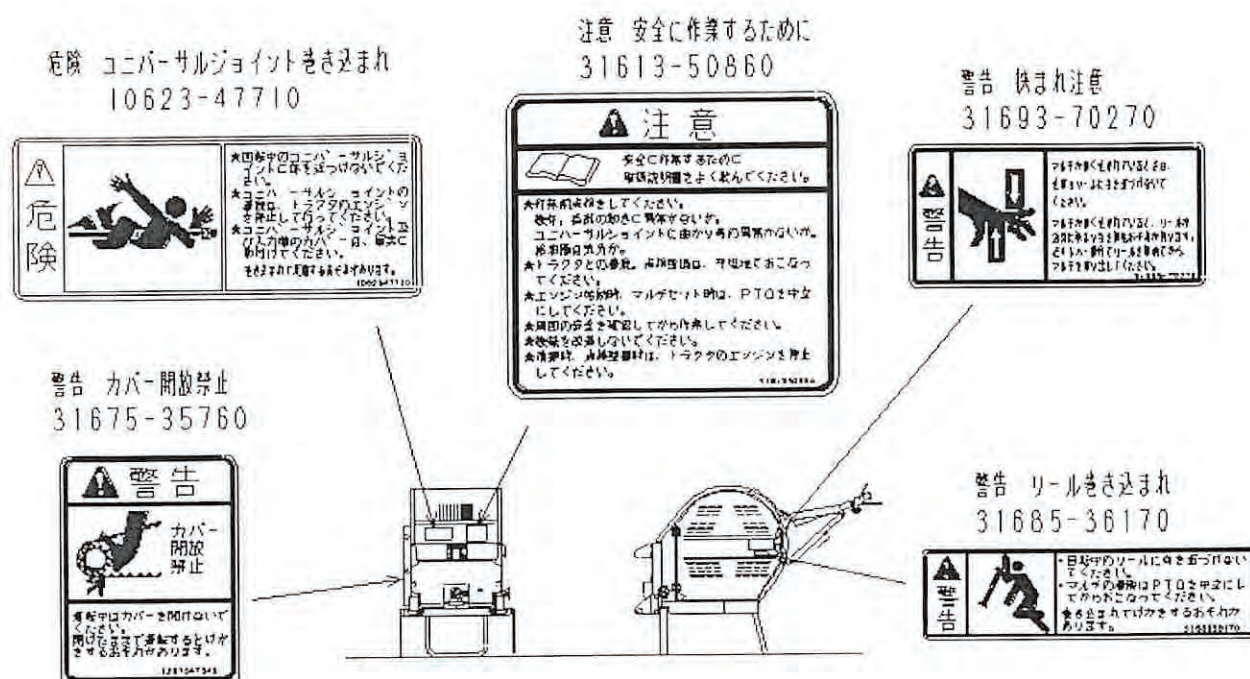
■主要諸元

名 称	マルチはぎ機
型 式	FDR-202N-HK
機 体 質 量 k g	125
全 長 m m	1760
全 幅 m m	800
全 高 m m	1210
適 応 マ ル チ	全面マルチ, 普通マルチ
は ぎ と り 条 数	1
適 応 ト ラ ク タ	15PS以上
装 着 方 法	3点リンク〔カテゴリ0, 1〕
適正PTO回転数 min^{-1}	1000以下
作 業 速 度 k m / h	3~10
作 業 能 率 分 / 10 a	20~30

■安全銘板の張り付け位置

安全に作業していただくための安全銘板の張り付け位置をしめします。

安全銘板はいつも汚れや破損のないようにし、もし破損した場合は新しいものを購入し張りなおしてください。

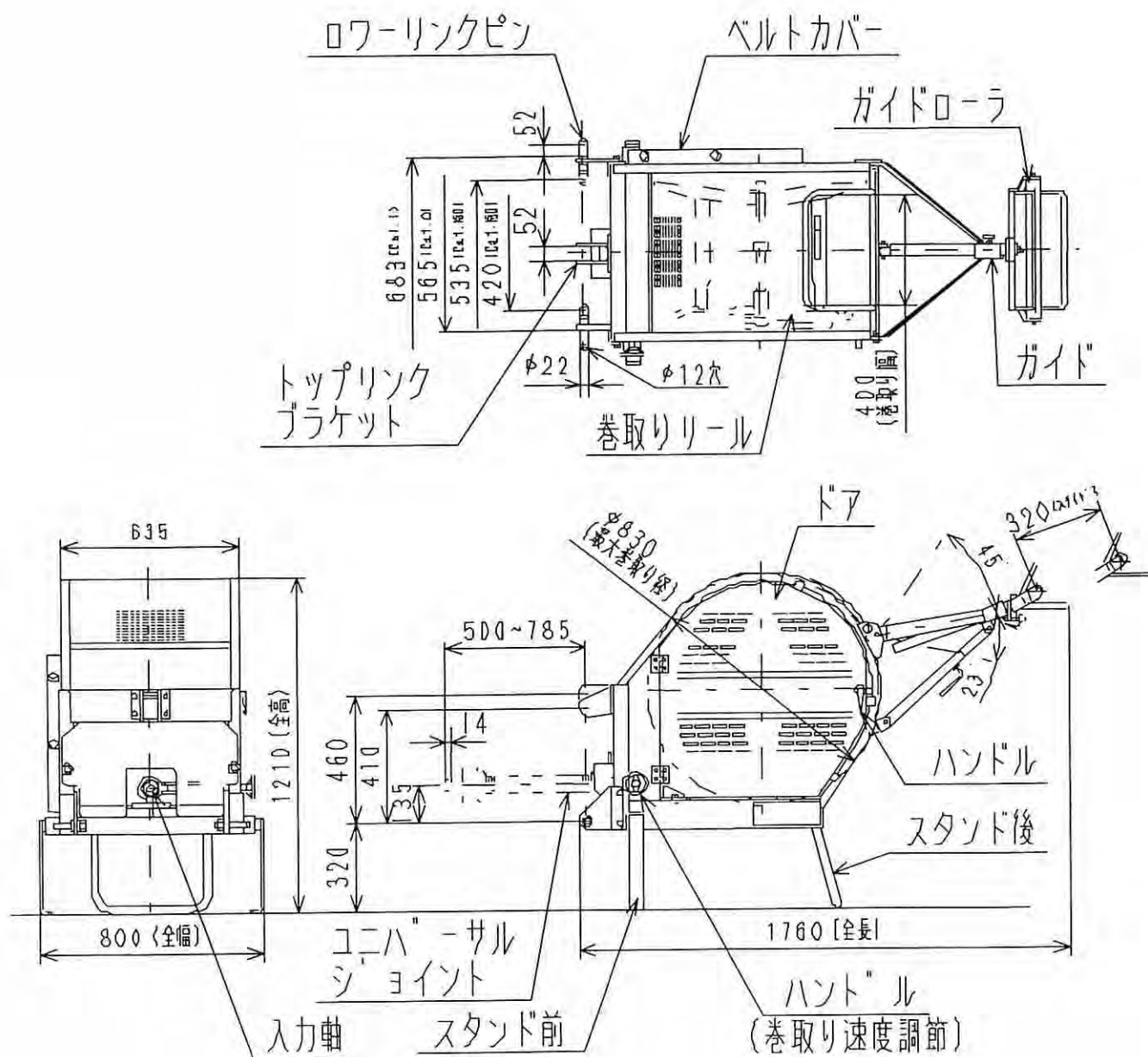


■付属部品

標準付属部品として次の部品が付属しています。

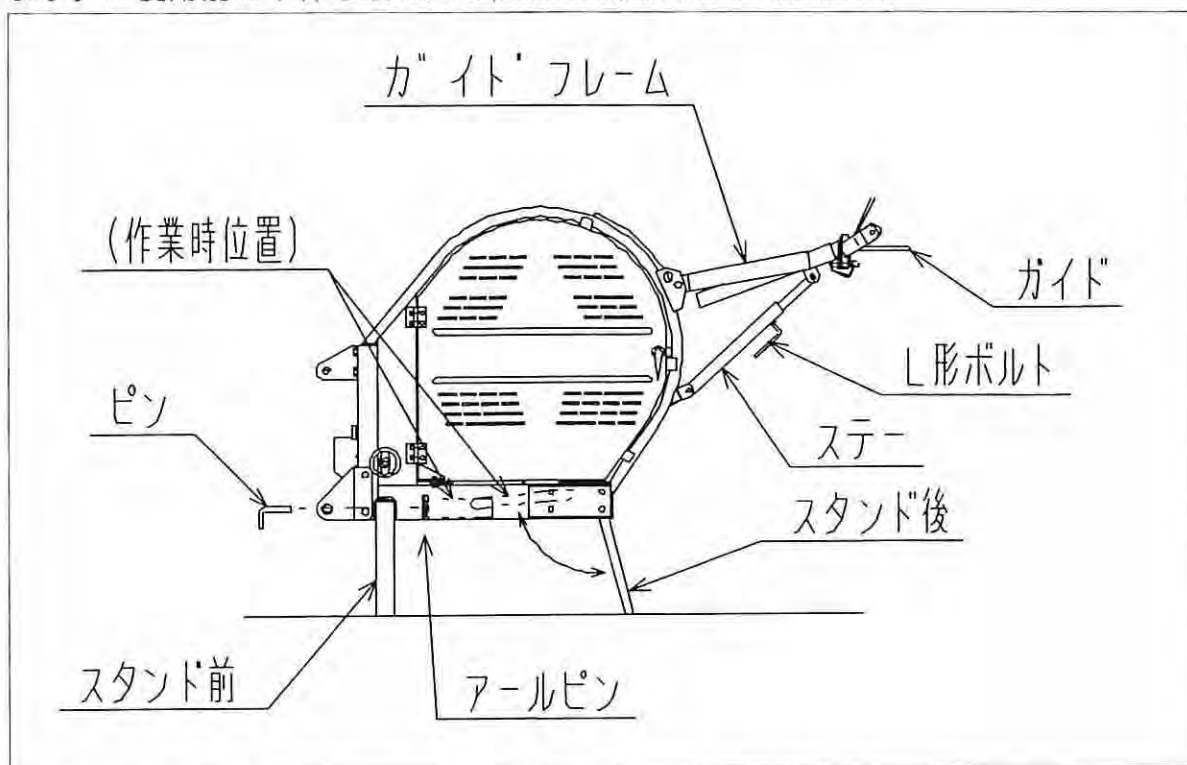
◎ユニバーサルジョイント (AS050-500)	1
◎ボルト (M10-60)	1
◎ロックナット (M10)	1
◎ガイド (後引き, 横引き兼用型)	1
◎取扱説明書	1

■各部の名称



■開梱のしかた

この機械は、通常木枠で梱包してあります。また、梱包の都合上取り外してある部品もあります。ご使用前に木枠を取り外し、部品を取り付けてください。



1. スタンドの取り付け

- (1) スタンド前を左右それぞれフレーム角パイプへ差し込み、ピン（L型）およびアールピンで固定します。
- (2) スタンド後は、フレームの中に折りたたんであるので、セットピンを抜き差しして下げます。

〔取扱いの注意〕 走行時は、スタンドを上げます。（上図作業時位置参照）

2. ガイドの取り付け

- (1) ガイドフレームをマルチ挿入口の後へ取り付けます。
- (2) ステー（L形ボルト付パイプ）を取り付け、ガイドフレームを支えます。
- (3) ガイドをガイドフレームに差し込み、ノブボルトで固定します。

■使用前に

1. 適応トラクタ



不適応のトラクタで作業しないでください。

守らないと、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

適応トラクタ	15PS以上
--------	--------

このマルチはぎ機は、3点リンク装着型です。3点リンクを装備したトラクタを使用してください。3点リンクのカテゴリは1, 0および特0（0より狭い取り付け幅）の3通りです

2. トラクタ前後バランス



トラクタ前後バランスを調整してください。

守らないと、バランスを崩し事故を引き起こすおそれがあります。

トラクタにマルチはぎ機を装着すると、トラクタの前輪を持ち上げる力が働きます。トラクタ前輪荷重がトラクタ総重量の20%以下になると、トラクタのステアリング（かじ取り）が効かなくなったり、極端な場合は後方へ転倒します。

トラクタ前輪荷重が少ない時は、トラクタにフロントウェイトを取り付けて前後バランスを調整してください。

3. ユニバーサルジョイント



・ユニバーサルジョイントの取り付け、取り外しはトラクタのエンジンを停止してから行ってください。

・PTO軸カバー、入力軸カバー、ユニバーサルジョイントカバーは確実に取り付けてください。

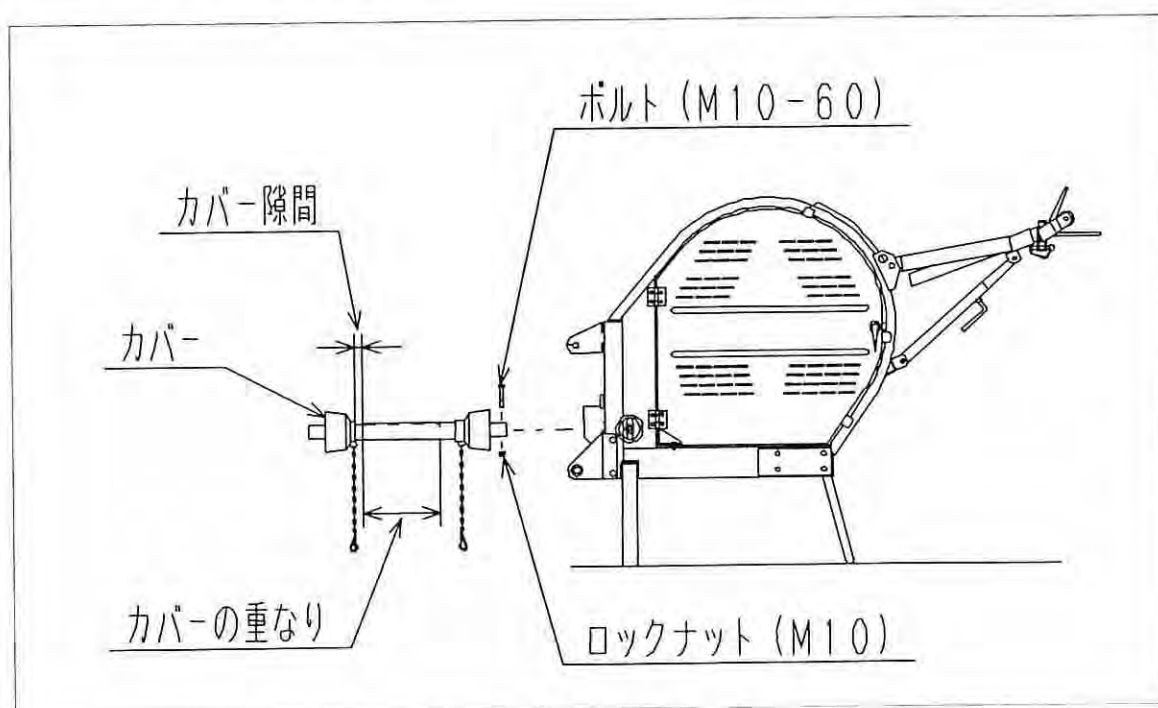
守らないと、巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠警告

- ・ユニバーサルジョイントは鎖でカバーの回り止めをしてください。
守らないと、巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ユニバーサルジョイントのノックピンを軸の溝に入れ抜け止めをしてください。（トラクタ側）
守らないと、ユニバーサルジョイントが抜け傷害事故を引き起こすおそれがあります。

・取り付け要領

- (1) マルチはぎ機の入力軸キャップを外し、ユニバーサルジョイントを入力軸へ差し込みます。
- (2) ボルト（M10-60）、ロックナット（M10）によりユニバーサルジョイントを入力軸へ固定します。
- (3) トラクタPTO軸へユニバーサルジョイントを差込、ノックピンにより抜け止めをします。
- (4) ユニバーサルジョイントカバーの鎖をトラクタおよびマルチはぎ機へ取り付け、カバーの回り止めをします。



・ユニバーサルジョイント長さの確認

マルチはぎ機をトラクタへ装着し3点リンクを上げ下げすると、ユニバーサルジョイントが伸び縮みします。

このとき、ユニバーサルジョイントが抜けたり突き上げたりしないことを、確認してください。

- (1) トラクタの3点リンクを上げ下げしたとき、ユニバーサルジョイントカバー隙間が最も少ないときでも2 cm以上あるか確認します。長すぎるときは、長い分を切断します。
- (2) また、最も伸びたときでもカバーとカバーとの重なりが5 cm以上あるか確認します。

■使用方法

1. 使用に当たって

(1) 使用者



こんな時は使用しない

過労，病気，薬物の影響，その他の理由により作業に集中できないとき。酒を飲んだとき。妊娠しているとき。18才未満の人。

守らないと、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

(2) 服装



作業に敵した服装，防護具を着用してください。

すべりやすいはきもの，だぶついた服装，腰てぬぐい等は禁止です。

守らないと、機械に巻き込まれたり，転倒してけがをするおそれがあります。

2. 作業前の点検



作業前に機械を点検してください。

守らないと、事故を引き起こしたり、機械を損傷するおそれがあります。

作業の前に機械の周りを一巡して異常がないか点検してください。

点検項目，注意事項は29ページの点検と整備の作業前の点検をご覧ください。

3. トラクタへの取り付け

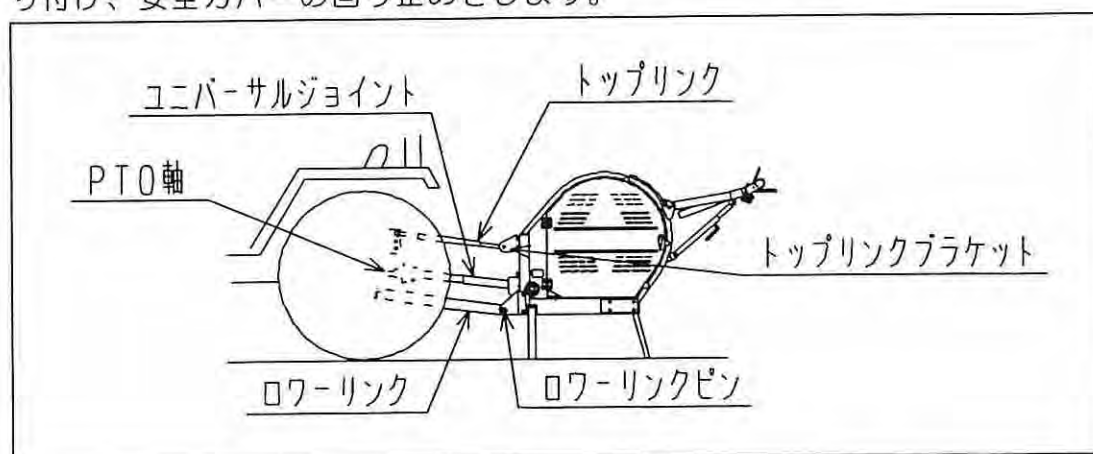
⚠危険

- ・ユニバーサルジョイントの取り付け、取り外しはトラクタのエンジンを停止してから行ってください。
- ・PTO軸カバー、入力軸カバー、ユニバーサルジョイントカバーは確実に取り付けてください。
守らないと、巻き込まれたりして死亡あるいは傷害事故を引き起こすおそれがあります。

⚠警告

- ・トラクタとの連結は平坦地で歯止めをして行ってください。
守らないと、機械が不意に動き出し傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ユニバーサルジョイントは鎖でカバーの回り止めをしてください。
守らないと、巻き込まれたりして傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ユニバーサルジョイントのノックピンを軸の溝に入れ抜け止めをしてください。
守らないと、ユニバーサルジョイントが抜け傷害事故を引き起こすおそれがあります。

- (1) トラクタのロワーリンクをマルチはぎ機のロワーリンクピンに入れて、装着します。
ロワーリンクピンを外向きあるいは内向きにしたり、ロワーリンクブラケットを左右入れかえることにより、ロワーリンク取り付け幅を4通りに変えられます。
トラクタのロワーリンク幅に合った位置にしてください。
- (2) トップリンクをトラクタおよびマルチはぎ機へ取り付けます。
- (3) ユニバーサルジョイントをトラクタPTO軸へ取り付けます。ユニバーサルジョイントの安全カバーに付いているチェーンを、それぞれトラクタ、マルチはぎ機へ取り付け、安全カバーの回り止めをします。

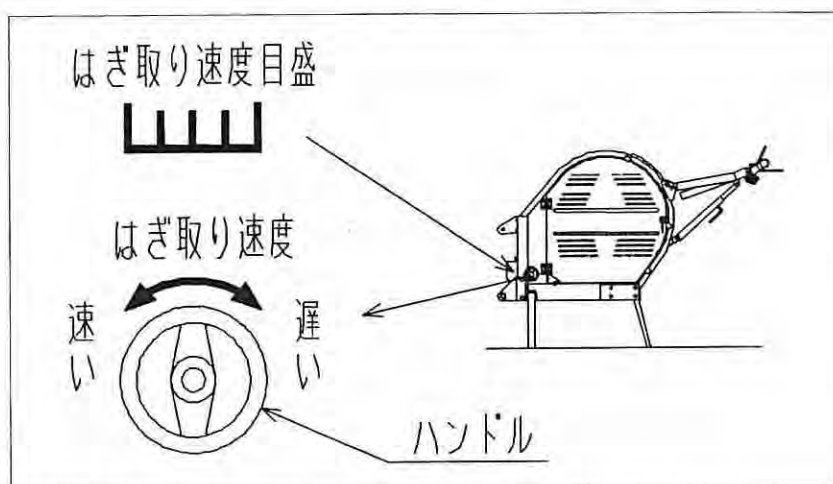


4. マルチはぎ取り速度の調節

この機械は、走行しながらマルチをはぎ取る方式なので、走行速度とはぎ取り速度とを合わせる必要があります。

このマルチはぎ機には、1～1.8の範囲ではぎ取り速度を変えられる変速機構が付いていますので、トラクタの変速段と合わせて調節してください。

はぎ取り速度は、機体左側のハンドルを回して調節します。



・ はぎ取り速度の合わせかた

- (1) トラクタP T Oを1速に入れ、エンジン定格回転時車速5 kmとなる変速段に入れます。(トラクタの車速表参照)
- (2) 実際にマルチをはぎ取ってみて

トラクタ車速がはぎ取り速度より速い場合 ↓ 変速ハンドルを「速い」側に回し速度をあわせる ↓ 変速ハンドルをいっぱい「速い」側に回してもトラクタの車速のほうが速いときは、トラクタ変速段を1速下げる	トラクタ車速がはぎ取り速度より遅い場合 ↓ 変速ハンドルを「遅い」側に回し速度を合わせる ↓ 変速ハンドルをいっぱい「遅い」側に回してもトラクタの車速のほうが遅いときは、トラクタ変速段を1速上げる
--	--

[取扱いの注意]

- ・ 車速とはぎ取り速度との関係は、圃場条件により異なりますので、実際の作業で調節してください。
- ・ 巻取りリールへマルチを厚く巻き取ると、巻取り速度が速くなります。これを考慮して作業してください。

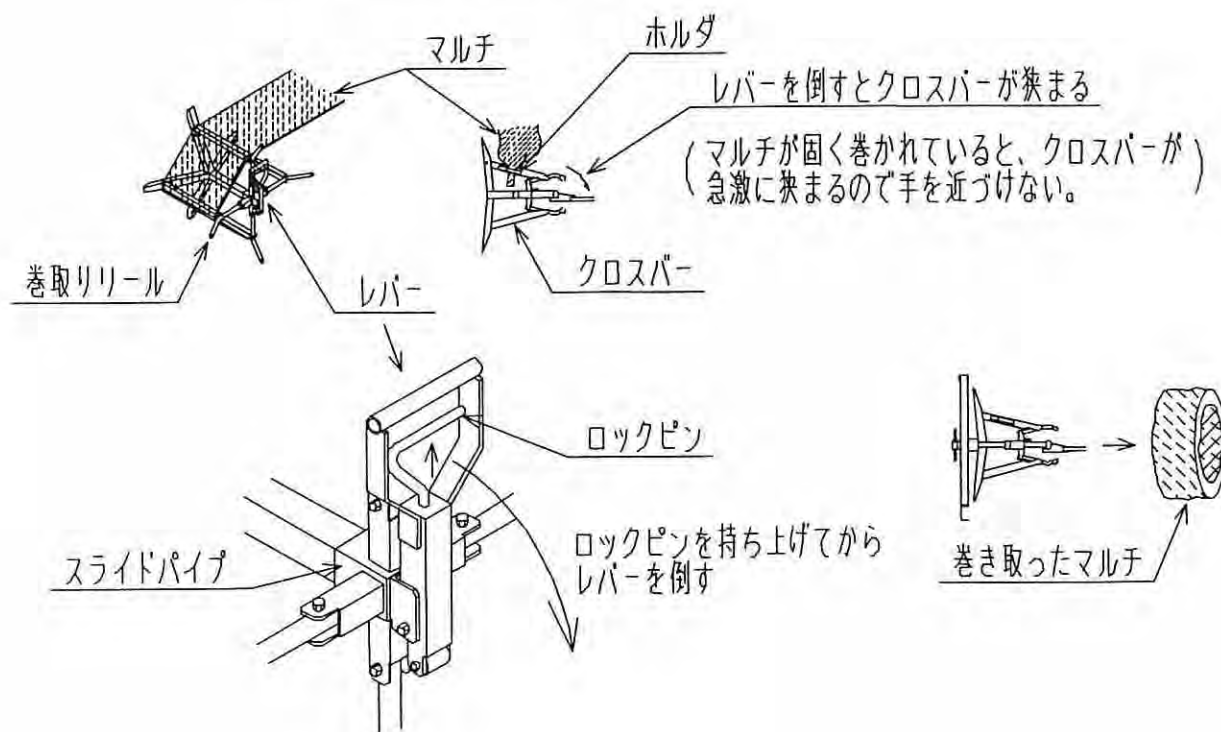
- ・圃場条件が良い場合は、P T Oを2速以上に入れスピードを上げて作業できます。
- ・はぎ取り速度の調節は、無負荷のときにP T Oを回転させながらハンドルを回して行ってください。

5. マルチの着脱



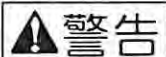
警告

- ・マルチの着脱時は、P T Oを中立にしてください。
守らないと、巻き込まれてけがをするおそれがあります。
- ・マルチが固く巻かれているときは、巻取りリールに手を近づけないでください。
守らないと、巻取りリールのクロスバーが急激に折りたたまれて、手を挟むおそれがあります。必ず、レバー操作でリールを折りたたんでから、マルチを取り出してください。



- ・マルチの取り付け
ホルダ（リールクロスバー4本の内1個所にある）でマルチを挟み取付ます。
- ・マルチの取り外し
レバーのロックピンを持ち上げ（レバー取っ手といっしょに握る）レバーを倒すと、スライドパイプが奥へスライドしクロスバーが狭まりますので、マルチを外せます。

■マルチはぎ取作業



警告

- ・ エンジンを始動するときはP T Oを中立にする。
守らないと、急に巻取りリールが回転し、傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ 周囲の安全を確認してから発進してください。共同作業の場合は、声を掛け合ってください。
守らないと、傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・ 圃場状態に見合った安全な速度で作業してください。
旋回するときは、スピードを落としてください。
急傾斜地では、旋回や等高線に沿った走行をしないでください。
守らないと、転倒事故を引き起こすおそれがあります。

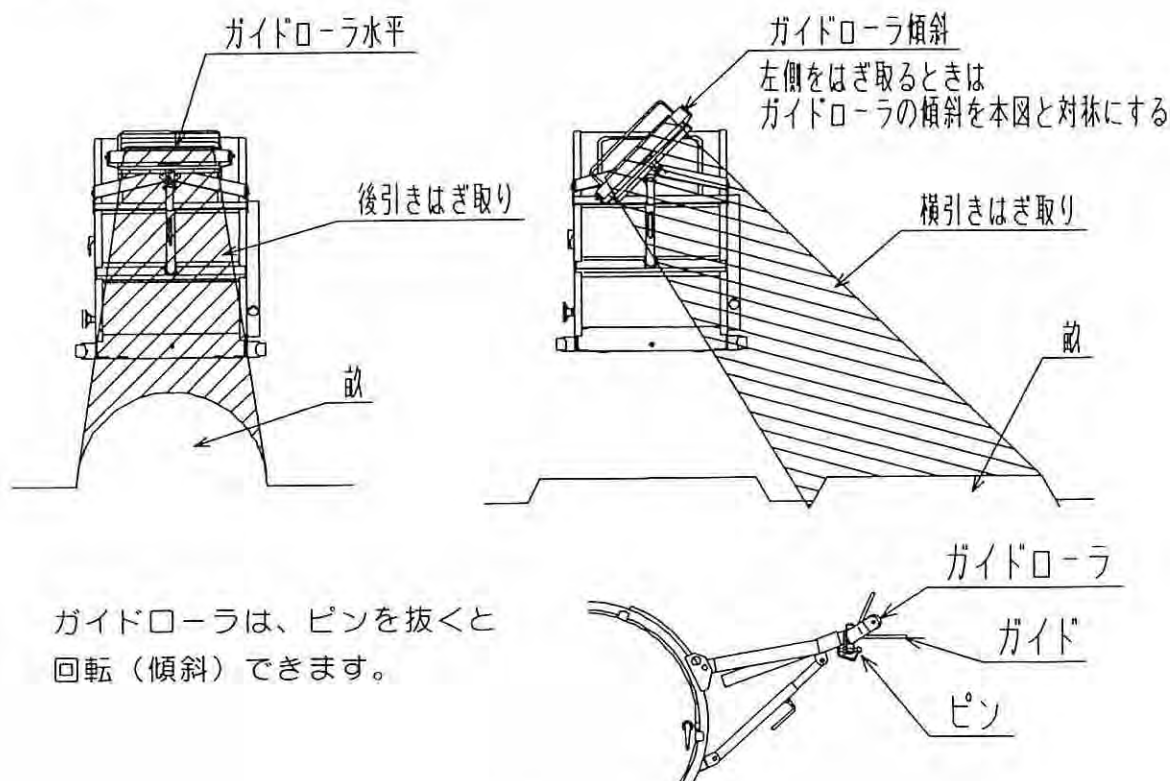
1. 後引きはぎ取り、横引きはぎ取り

畝の形状、作物の状態により後引きではぎ取る場合と、横引きではぎ取る場合とがあります。

後引きはぎ取りの場合、ガイドローラは水平で使用します。

横引きはぎ取りの場合は、ガイドローラを傾斜させます。

傾斜角度は、左右それぞれ2段ありますのでマルチを引く向きに合わせて調節してください。



2. 高畝マルチのはぎ取り（里芋、甘藷、じゃがいも等）

このマルチの場合は、通常畝をまたぎ後引きではぎ取ります。

（１）３点リンクによりトラクタへ取り付けます。マルチはぎ機フレーム下面地上高が約５０ｃｍ（作業姿勢）のとき機体が水平になるように、トップリンクの長さを調節します。（甘藷、じゃがいもの場合は畝が低いので地上高約４０ｃｍ）

（２）畝をまたぎ４～５ｍ進みます。

（３）マルチの端を持ち上げガイドローラの上を通し、巻取りリールへ取付ます。

（４）ＰＴＯを１速に入れ車速変速段を希望位置に入れて発進し、マルチをはぎ取り（巻取り）ます。

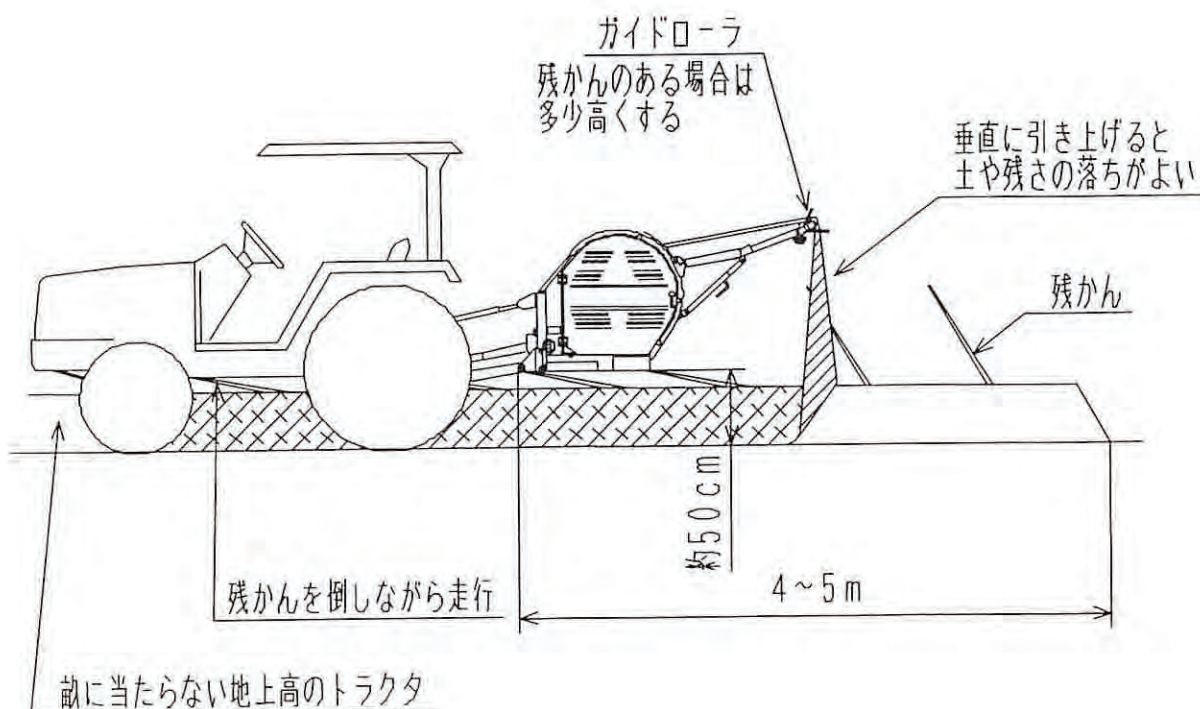
はぎ取り速度と走行速度を同調させます。

（５）圃場の端まで進みマルチを巻き取ったら、ＰＴＯを停止してマルチを巻取りリールから取り外します。

（６）Ｕターンして次の列をはぎ取ります。

〔取扱いの注意〕 ・ 残かんや残さが無くマルチが簡単に引き上がるときは、はぎ取り部が確認できる横引きはぎ取りが能率的です。
・ 覆土が固くマルチが切れてしまうときは、オプションのサブソイラを使用すると、覆土をほぐしながらはぎ取りできます。

サブソイラ ADRSA2N ー畝幅４８～８０ｃｍ（レタス、里芋等）
 ADRSBN ー畝幅５６ｃｍ以下（甘藷、じゃがいも等）
 ADRSA3N ー畝幅８０～１５０ｃｍまでの幅広畝用（可動式）

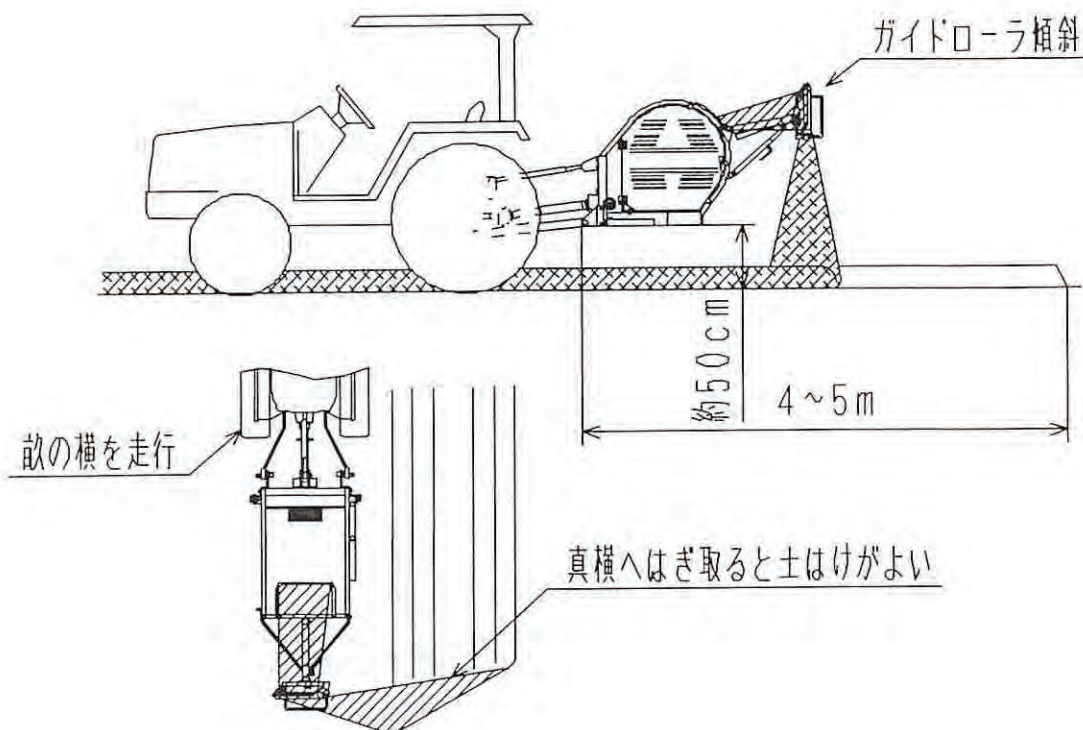


3. 全面マルチのはぎ取り〔レタス、はくさい、キャベツ等〕

このマルチは、横引きではぎ取ります。横に引くことで覆土の除去がスムーズに行えます。

- (1) 3点リンクを使用して、トラクタへ取り付けます。マルチはぎ機フレーム下面地上高が約50cm〔作業姿勢〕のとき機体が水平になるように、トップリンク長さを調節します。
- (2) はぎ取るマルチの横で、はぎ取る端から4～5m進みます。
- (3) マルチの端を持ち上げ、ガイドローラの上を通して巻取りリールへ取り付けます。このとき、ガイドローラをはぎ取る方向へ合わせて傾斜させます。
- (4) PTOを1速に入れ車速変速段を希望の位置に入れて発進し、マルチをはぎ取り（巻取り）ます。
はぎ取り速度と走行速度とを同調させます。
- (5) 圃場の端まで進みマルチを巻き取ったら、PTOを停止してマルチを巻取りリールから取り外します。
- (6) Uターンして次の列をはぎ取ります。

[取扱いの注意] ・ 管理路等で、覆土が固くマルチが切れてしまうときは、オプションのサブソイラを取り付けると、覆土をほぐしながらはぎ取りできます。
・ マルチに土や残さが付着していっしょに巻き取ってしまうときは、オプションのスクレツパ(ADRS L2N)を取り付けると土落としができます。



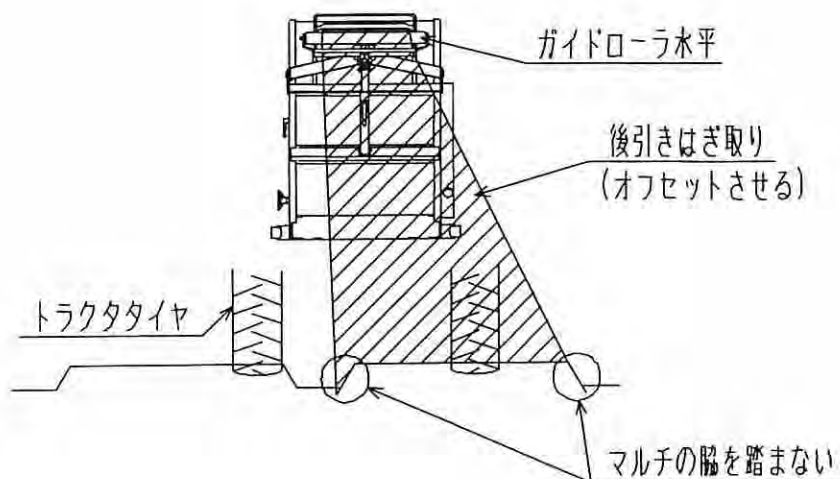
4. 平畝マルチのはぎ取り（レタス、白菜、だいこん、すいか等）

このマルチは、圃場条件により後引きではぎ取る場合と、横引きではぎ取る場合の2通りがあります。

（１）後引きはぎ取り

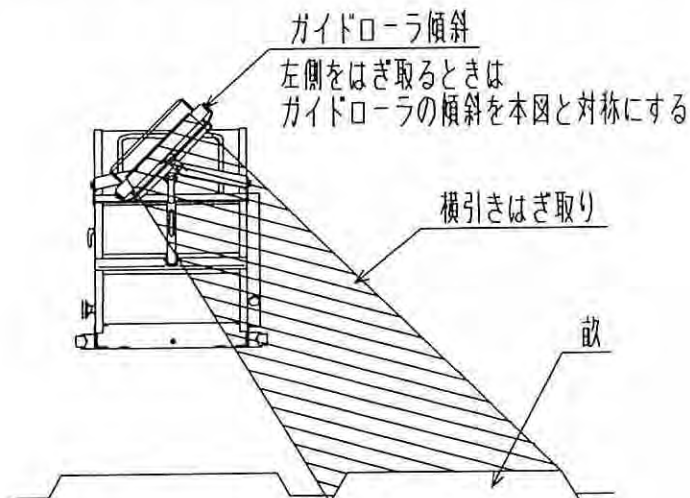
高畝マルチと同様に、畝をまたぎ後からマルチを引き上げてはぎ取ります。

〔取扱いの注意〕・畝幅が広くトラクタで畝の両脇を踏みつけるときは、どちらかにオフセットさせて、畝の両脇を踏まないようにはぎ取ります。
（踏みつけるとマルチが切れてはぎ取りできなくなります）



（２）横引きはぎ取り

全面マルチと同様に、畝の横からマルチを引き上げはぎ取ります。



〔取扱いの注意〕・覆土が固くマルチが切れてしまうときは、オプションのサブソイラを使用すると、覆土をほぐしながらはぎ取りできます。

5. サブソイラ（オプション部品）

覆土が固くマルチが切れてしまうときは、サブソイラで覆土をほぐしながらはぎ取ります。サブソイラは、3種類ありますので畝に合わせてお選びください。

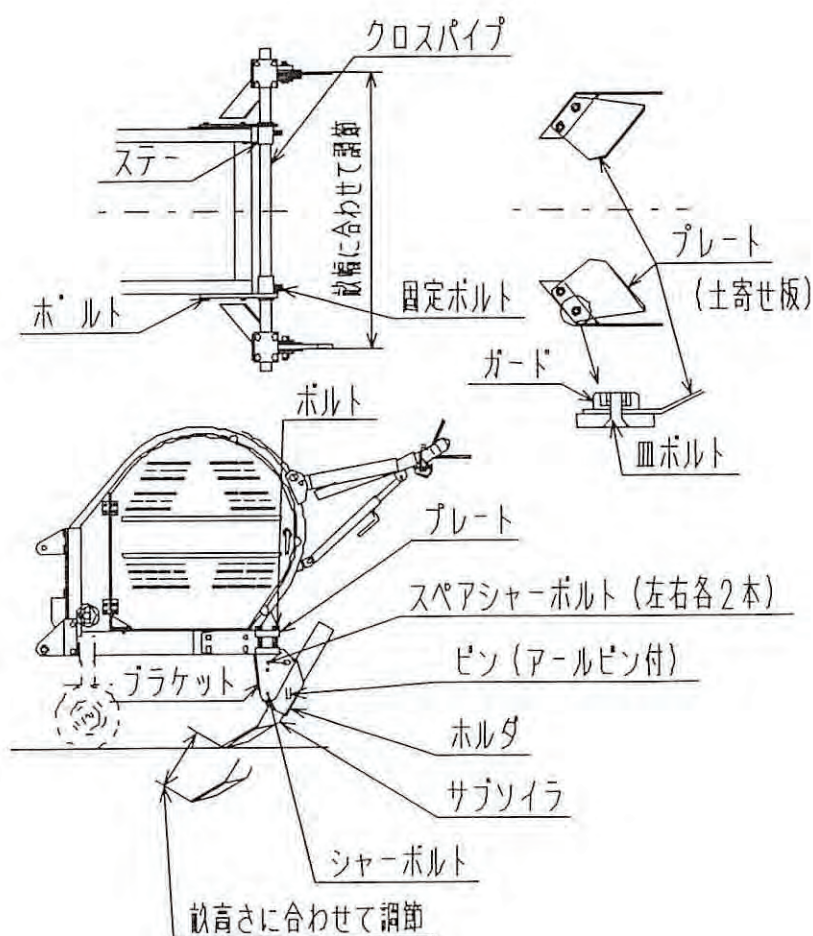
（1）サブソイラの種類

- ADRSA2N型・・・畝幅48cm～80cmの高畝および平畝に使用
（スイカ、大根、レタス、里芋等）
- ADRSBN型・・・畝幅56cm以下の高畝および平畝に使用
（甘藷、じゃがいも等）
- ADRSCN型・・・畝幅80～150cmまでの幅広畝用（可動式）

（2）サブソイラの取り付け

○ADRSA2N型

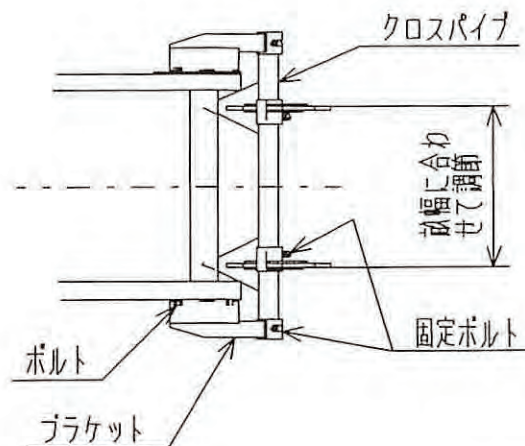
- ・ステアを本体フレームの両側へ取り付けます。
（M12-35 11T）
- ・クロスパイプを通し、左右の出を同じにして固定ボルトで固定します。
- ・クロスパイプへブラケット（ホルダ付）を固定します。
（畝幅に合わせて取り付け幅を調整します）
- ・サブソイラをホルダに入れピン（アールピン付）で固定します。
- ・必要に応じて（マルチ上の土の払い落とし等）プレート（土寄せ板）をサブソイラへ取り付けます。



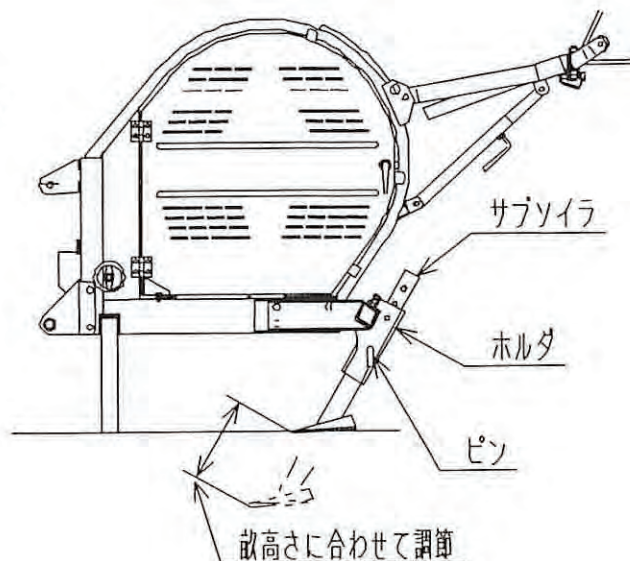
[取扱いの注意] ・ このサブソイラは、後部スタンドとしても使用します。

○ A D R S B N 型

- ・ ブラケットを本体フレーム両側へ取り付けます。ブラケットは、右、左ありますので、本図通り取り付けてください。
- ・ クロスパイプをブラケットの角パイプへ通します。この時、ホルダも同時に通します。
- ・ 固定ボルトを締め付けて、クロスパイプおよびホルダを固定します。
- ・ サブソイラをホルダに入れ、ピン（アールピン付）で固定します。



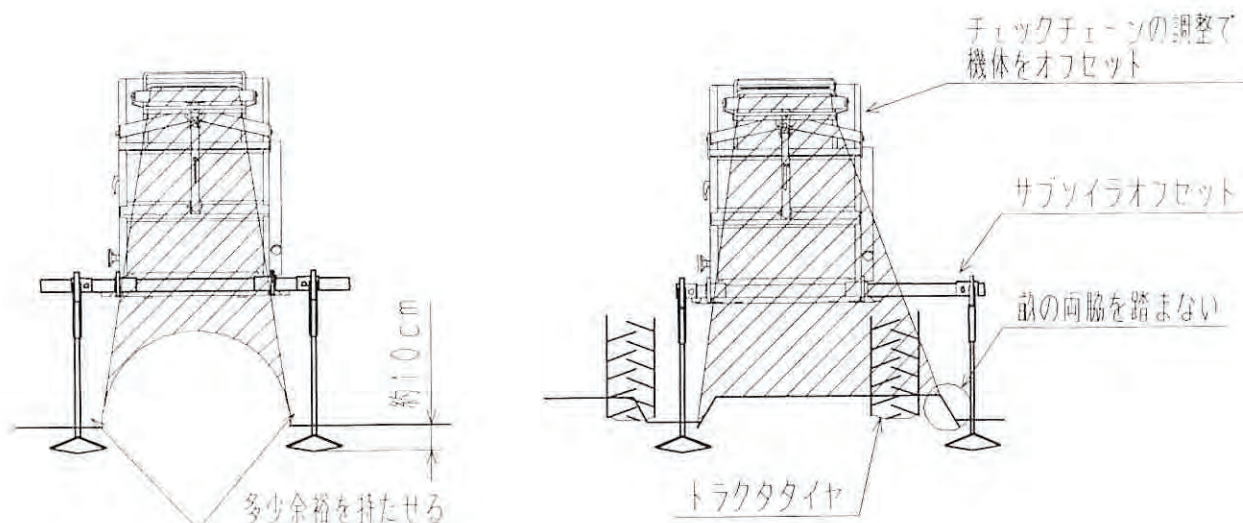
[取扱いの注意] ・ このサブソイラは、後部スタンドとしても使用します。



(3) サブソイラ使用方法

○ADRSA2N, ADRSBN型

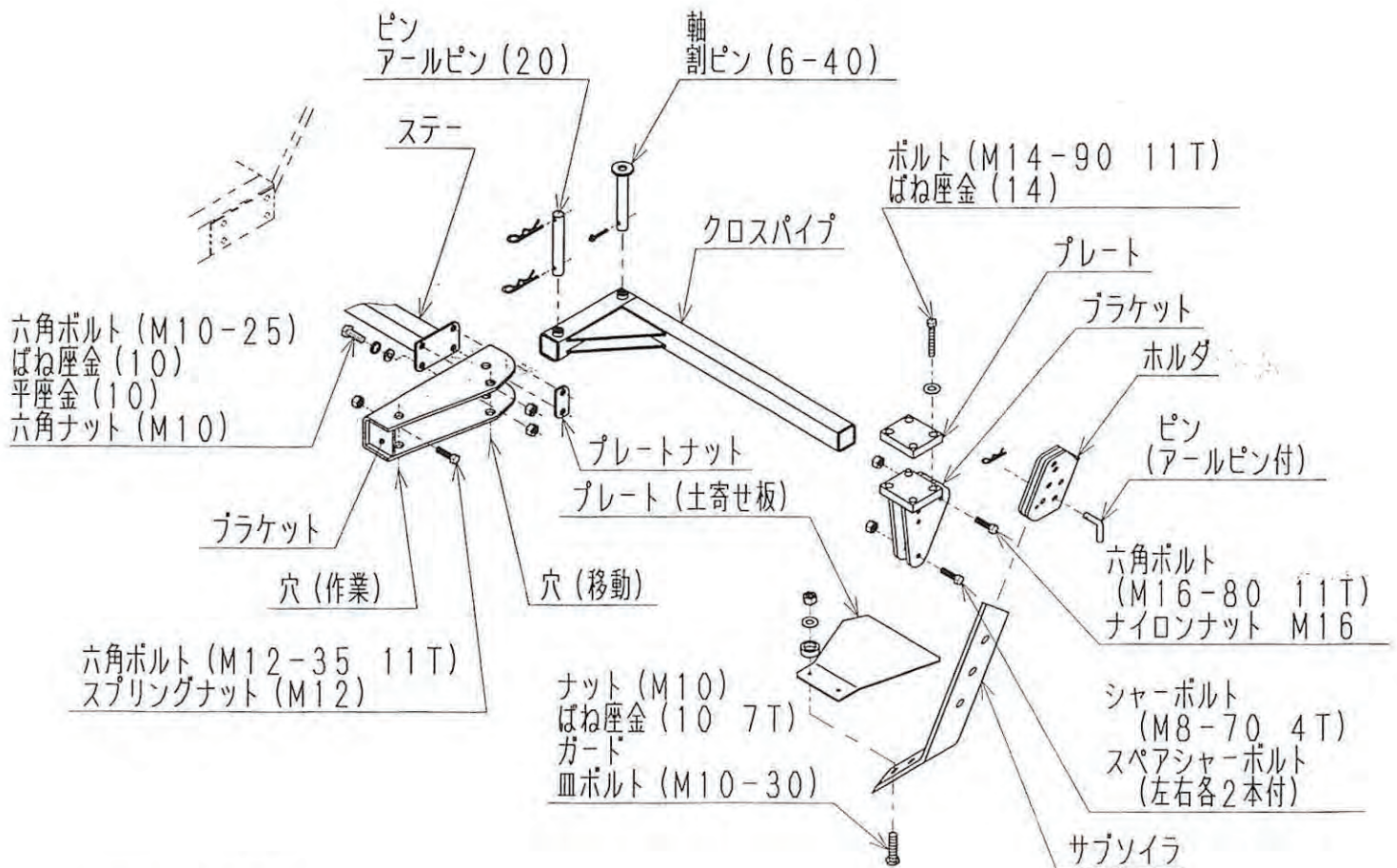
- ・サブソイラ取付幅を畝幅に合わせます。（多少余裕を持たせます）
- ・畝の高さに合わせてサブソイラを伸ばします。
（トラクタ3点リンクをいっぱい持ち上げたとき、サブソイラが畝に当たらないことを、確認してください）
- ・サブソイラを土中に入れ（深さ約10cm）覆土をほぐしながら、マルチをはぎ取ります。
- ・畝幅が広く、トラクタのタイヤで畝の両脇を踏みつけるときは、機体およびサブソイラをオフセットさせます。（ADRSA2Nの場合、右図参照）



- [取扱の注意] ・ このサブソイラは、マルチの覆土をほぐすための簡易的なサブソイラです。石の多い圃場、地盤の堅い圃場での過酷な使用は、シャーボルトが切断したりマルチはぎ機本体まで破損することがあります。土中への入り込み深さは、10cm程度としてください。
- また、シャーボルトは、純正品を使用してください。（ADRSA2N）
- ・ ADRSA2Nのプレート（土寄せ板）は、畝の中の土を外へ押し出しマルチ上の土を払い落とす効果がありますが、その分抵抗が増え、シャーボルト切断の原因になります。土の状態（硬さ、粘性）を見ながら使用してください。
 - ・ オプションのゲージホイール（ADRGWCN, コルタ付）を装着するとサブソイラの入り込み深さを一定にできます。

○ ADR SA3N 取り付け方法

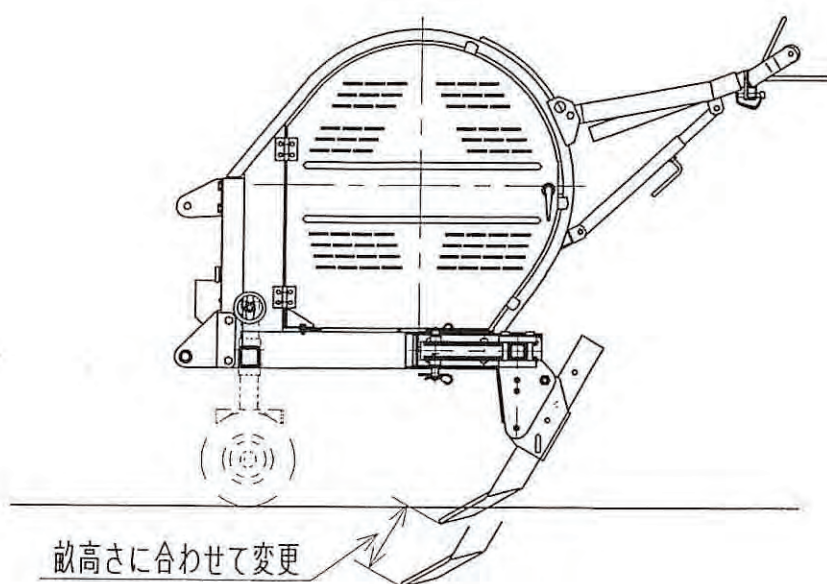
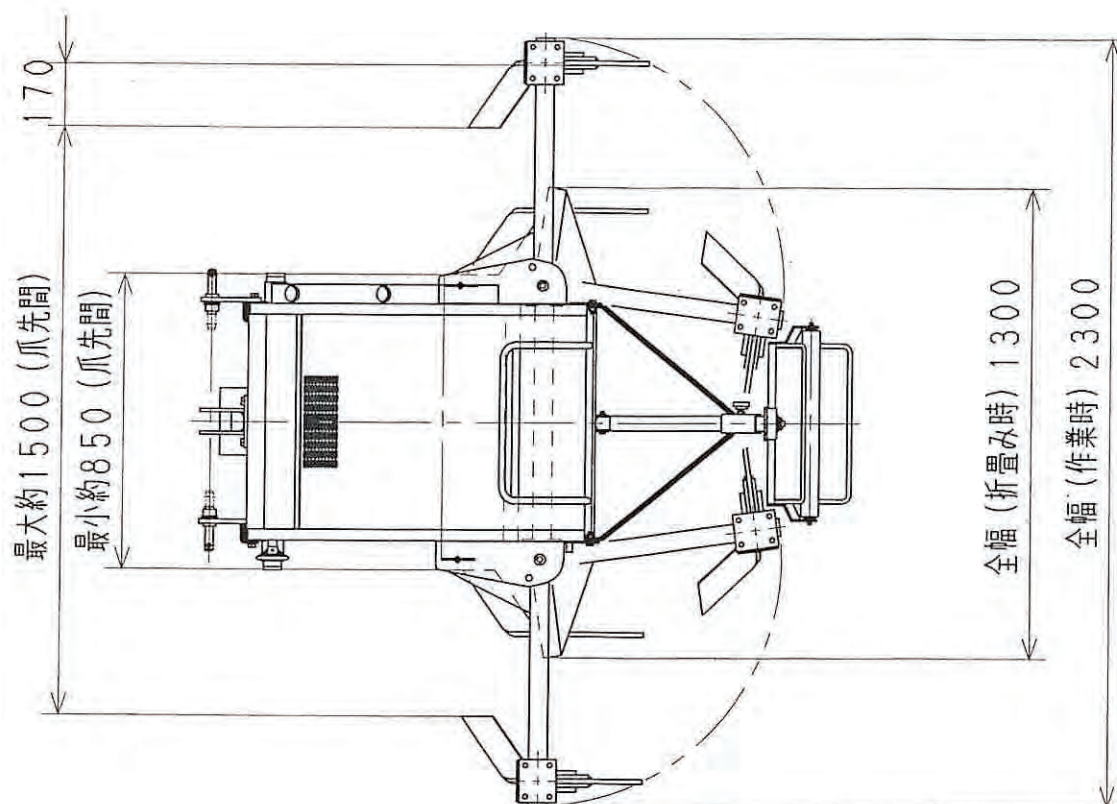
- ・下の図を参考にマルチはぎ機本体にブラケットを取り付けてください。
- ・ブラケットにステーを取り付けます。機械後ろ側はプレートナットで取り付けます。
- ・軸とピンでクロスパイプをブラケットに取り付けてください。ピンは穴（作業）に入れてください。
- ・クロスパイプへブラケット、（ホルダ付）を固定します。（畝幅に合わせて取り付け幅を調節します。）
- ・サブソイラをホルダに入れピン（アールピン付）で固定します。
- ・必要に応じて（マルチ上の土の払い落としなど）プレート（土寄せ板）をサブソイラへ取付けます。



取扱いの注意

- ・このサブソイラはマルチの覆土をほぐすための簡易的なサブソイラです。石の多い圃場、地盤の固い圃場での過酷な使用は、シャーボルトが切断したりマルチはぎ機本体まで破損することがあります。土中への入り込み深さは、10cm程度としてください。また、高強度ボルトをシャーボルトに使用しないでください。
- ・プレート（土寄せ板）は、畝の土を外側へ押し出しマルチ上の土を払い落とす効果がありますが、その分抵抗が増え、シャーボルト切断の原因になります。土の状態（硬さ、粘性）を見ながら使用してください。
- ・作業時はピンを穴（作業）に入れクロスパイプを固定してください。移動時はクロスパイプを折畳み、穴（移動）にピンを入れてください。
- ・ロアリンクはゆっくり動かしてください。特に勢いよく降下させた場合、衝撃で機械が損傷するおそれがあります。
- ・トラクタ前輪にかかる荷重（前輪荷重）が軽いうまく操縦出来なくなり危険です。特に移動時の姿勢では重心が後ろに移動し、より前輪荷重が軽くなります。必要に応じてトラクタにフロントウェイトを取付けてください。

ADRSA3N 外観図



■ 格納



- ・ ユニバーサルジョイント着脱時は、エンジンを停止してください。
守らないと、巻き込まれて死亡あるいは傷害事故を引き起こす
おそれがあります。



- トラクタとの着脱は平坦地でタイヤに歯止めをして行ってください。
守らないと、機械が動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。

作業終了後は清掃し、各部に給油して格納してください。

- (1) 各部を水洗いしてください。
- (2) ボルト、ナット類のゆるみを点検し、必要なものは増し締めしてください。
- (3) 各部に給油してください。
- (4) 平坦な場所に保管してください。
- (5) なるべく屋内に格納してください。

やむをえず野外に置く場合はシート等をかけ、ユニバーサルジョイントは取り外して倉庫内に保管してください。

■点検と整備



- ・点検、整備、修理をする時は、平坦地でトラクタの駐車ブレーキをかけてください。
守らないと、不意に動いて傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- ・点検、整備、修理あるいは清掃するときは必ずトラクタのエンジンを停止してください。
- ・点検、整備等で取り外したカバー類は必ず取り付けてください。
守らないと、機械に巻き込まれて、傷害事故を引き起こすおそれがあります。

点検、整備は、作業の安全、機械の寿命、作業能率に大きく影響しますので、定期的に行ってください。

作業前には機械の周りを一巡して、異常がないか確認してください。

- [取扱いの注意]
- ・給油脂時は、給油口をウエス等できれいにしてから行ってください。
 - ・交換部品は純正品を使用してください。

1. 作業前の点検

(1) 車体の損傷

車体に損傷や異常がないか、特に溶接部に亀裂がないか点検します。

(2) ユニバーサルジョイント

- ・軸の変形はないか。
- ・十字継手部にガタはないか。
- ・安全カバーの破損はないか。
- ・回り止めの鎖が切れたり、紛失していないか。

(3) 空運転

空荷でPTOを回転させ、各部の動きに異常がないか点検してください。

2. ボルト、ナットのゆるみ

最初の5～10時間後に全てのボルト、ナットのゆるみを点検します。

3. Vベルトの損傷、磨耗

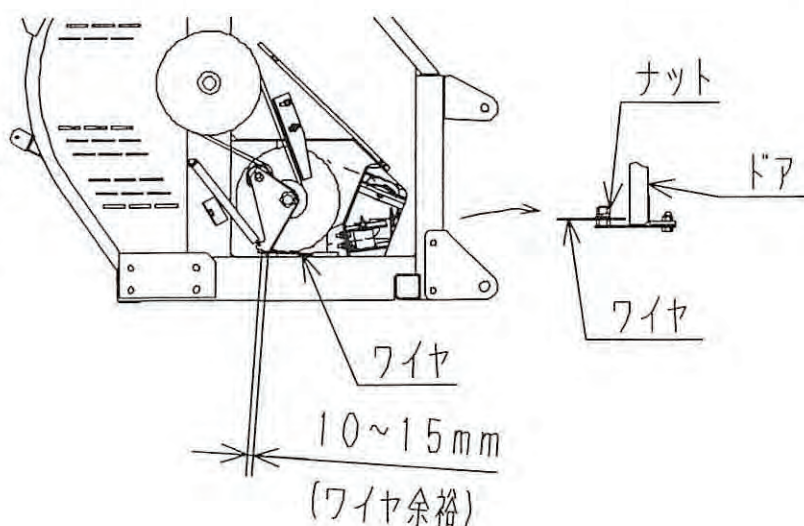
巻取りリールを駆動しているVベルト（2本）を3ヶ月毎点検し、著しく損傷、磨耗している部品は、早めに交換します。ベルトサイズ SB61, B47

4. クラッチワイヤの余裕

Vベルトが伸びると、クラッチワイヤの余裕がなくなり、テンションを引っ張ってしまいVベルトがスリップするようになります。

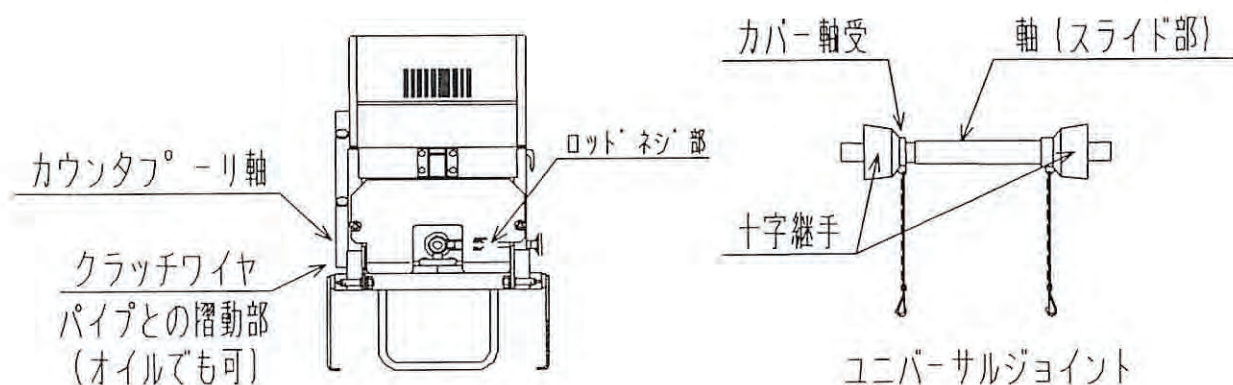
ワイヤ余裕が10～15mmとなるように、ドアのワイヤブラケットのナットを緩め調整します。

- 〔取扱いの注意〕
- ・ワイヤ余裕を多く取り過ぎると、ドアを開けても巻取りリールの回転が停止しなくなります。調整後確認してください。



5. 給油脂

1年に1度次の個所にグリースアップしてください。



6. 点検整備基準

特に作業条件が悪い場合は、規定の時間より早めに点検整備をしてください。

○点 検 △補 給 □清 掃

作 業 内 容	時 期				備 考
	作 業 前 毎	作 業 後 毎	3 ヶ 月 毎	12 ヶ 月 毎	
ボルト，ナットのゆるみ				○	新車時初回 5～10 時間
機体の損傷	○				
ユニバーサルジョイント	○				
各部の作動	○				
Vベルト			○		
クラッチワイヤの余裕			○		
機体の洗淨		□			
給油脂				△	

このページをコピーして点検表として利用してください。

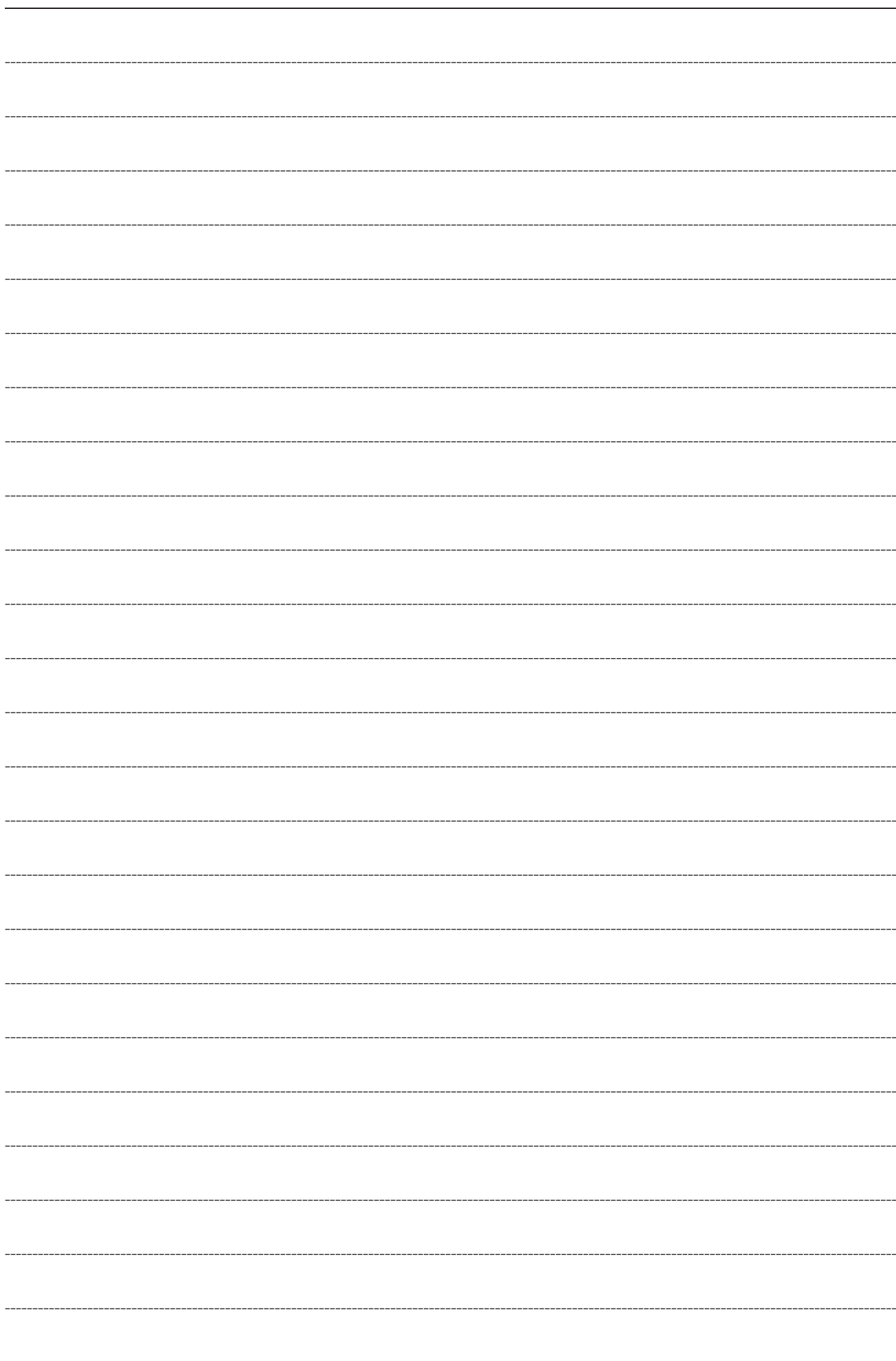
■故障と対策

ここには、簡単な故障の原因とその対策方法を載せてあります。

もし、機械調子が悪い時は、この表を参考にしてください。

原因がわからない場合、対策が困難な場合は、早めにお買上げの販売店，サービス工場へご相談ください。

状 況	原 因	対 策
マルチがはぎ取れない	Vベルトがスリップしている（テンションスプリング破損）	テンションスプリングを交換する
	Vベルトがスリップしている（クラッチワイヤに余裕がない）	クラッチワイヤに余裕をもたせる
	Vベルトがスリップしている（速度調節ハンドルを「速い」側に回し過ぎ）	速度調節ハンドルを「遅い」側に回し、Vベルトに張りを持たせる
	Vベルトが破損している	破損部品を交換する



調 整

S - 2 5 0 7 0 1 A

千 歳 本 社 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-26-1123
FAX 0123-26-2412

千 歳 営 業 所 066-8555 千 歳 市 上 長 都 1 0 6 1 番 地 2
TEL 0123-22-5131
FAX 0123-26-2035

豊 富 営 業 所 098-4100 天 塩 郡 豊 富 町 字 上 サ ロ ベ ッ 1 1 9 1 番 地 4 4
TEL 0162-82-1932
FAX 0162-82-1696

帯 広 営 業 所 080-2462 帯 広 市 西 2 2 条 北 1 丁 目 1 2 番 地 4
TEL 0155-37-3080
FAX 0155-37-5187

中 標 津 営 業 所 086-1152 標 津 郡 中 標 津 町 北 町 2 丁 目 1 6 番 2
TEL 0153-72-2624
FAX 0153-73-2540

花 巻 営 業 所 028-3172 岩 手 県 花 巻 市 石 鳥 谷 町 北 寺 林 第 1 1 地 割 1 2 0 番 3
TEL 0198-46-1311
FAX 0198-45-5999

仙 台 営 業 所 984-0032 宮 城 県 仙 台 市 若 林 区 荒 井 5 丁 目 2 1 - 1
TEL 022-353-6039
FAX 022-353-6040

小 山 営 業 所 323-0158 栃 木 県 小 山 市 梁 2 5 1 2 - 1
TEL 0285-49-1500
FAX 0285-49-1560

東 海 営 業 所 485-0081 愛 知 県 小 牧 市 横 内 字 立 野 6 7 8 - 1
TEL 0568-75-3561
FAX 0568-75-3563

岡 山 営 業 所 700-0973 岡 山 県 岡 山 市 北 区 下 中 野 7 0 4 - 1 0 3
TEL 086-243-1147
FAX 086-243-1269

熊 本 営 業 所 861-8030 熊 本 県 熊 本 市 東 区 小 山 町 1 6 3 9 - 1
TEL 096-389-6650
FAX 096-389-6710

都 城 営 業 所 885-1202 宮 崎 県 都 城 市 高 城 町 穂 満 坊 1 0 0 3 - 2
TEL 0986-53-2222
FAX 0986-53-2233